

経営比較分析表（令和元年度決算）

島根県 松江市

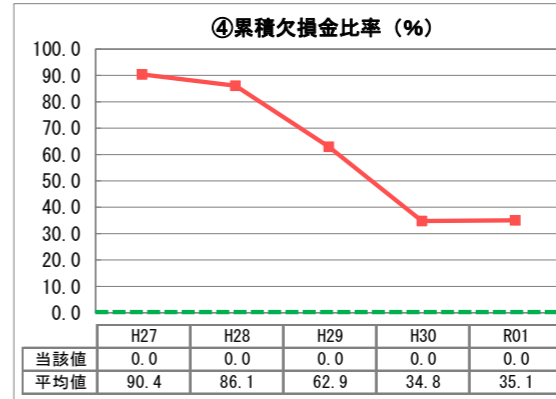
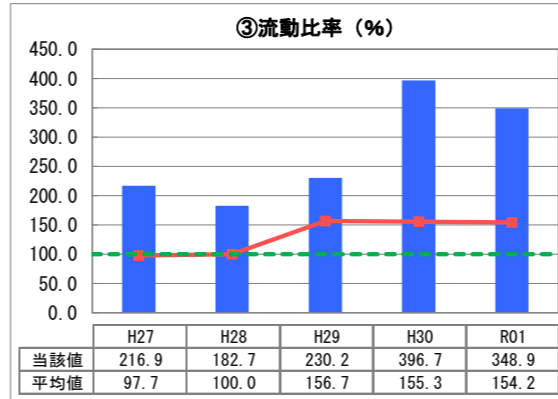
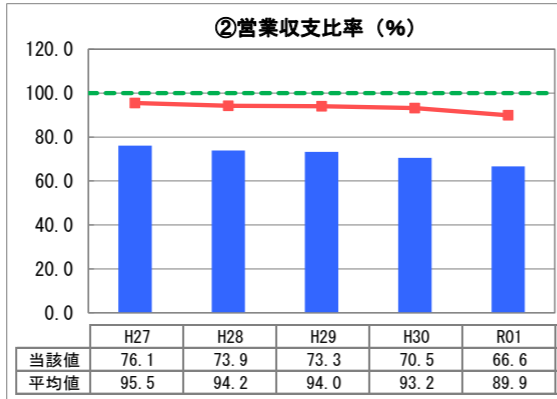
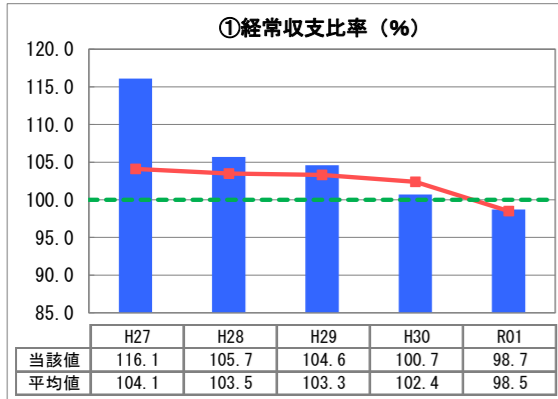
業務名	業種名	事業名	管理者の情報
法適用	交通事業	自動車運送事業	自治体職員
資金不足比率 (%)	営業路線 (km)	年間走行キロ (千km)	在籍車両数 (両)
-	155.8	2,249	68
職員数 (人)	管理の委託割合 (%)	民間事業者の有無	地域公共交通網形成計画策定の有無
110	-	有	有

※民間事業者の有無とは、行政区域内で民間バス事業者が運行しているかどうかを指す。

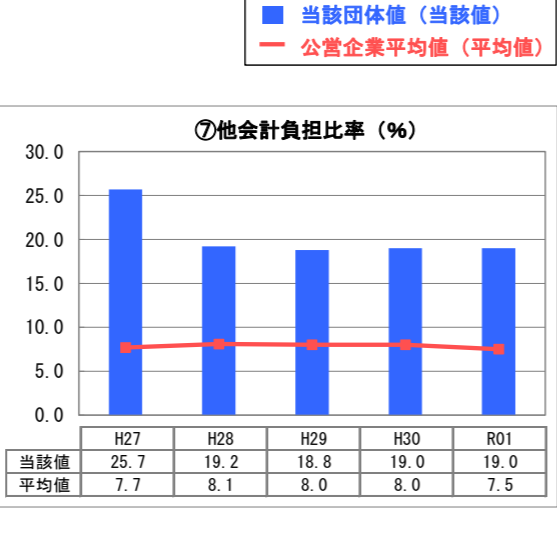
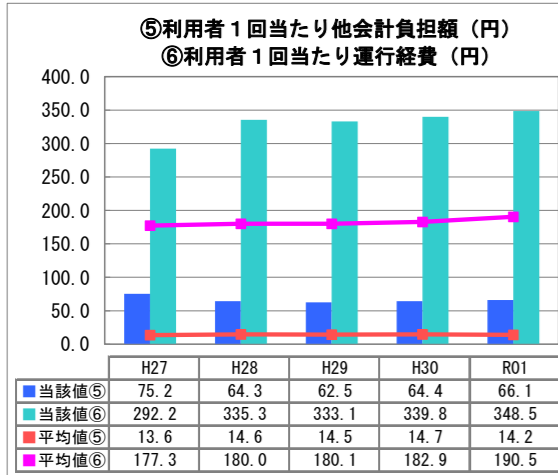
	H27	H28	H29	H30	R01
年間輸送人員 (千人)	3,000	3,095	3,115	3,050	3,012
他会計負担額 (千円)	225,651	198,951	194,653	196,463	198,960

1. 経営の健全性

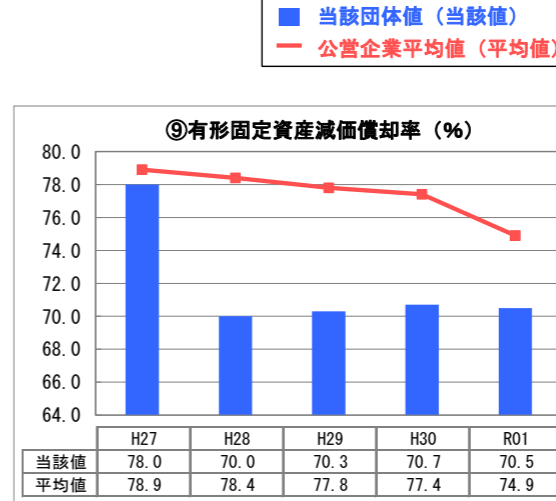
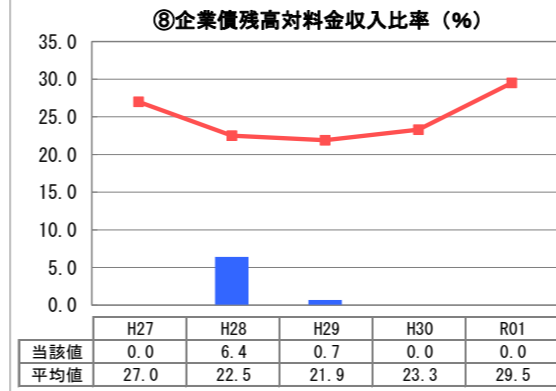
○事業の状況



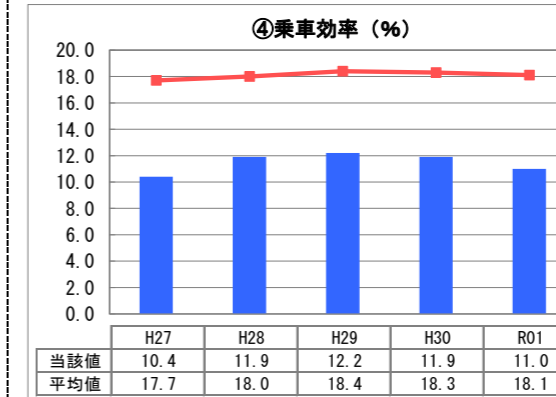
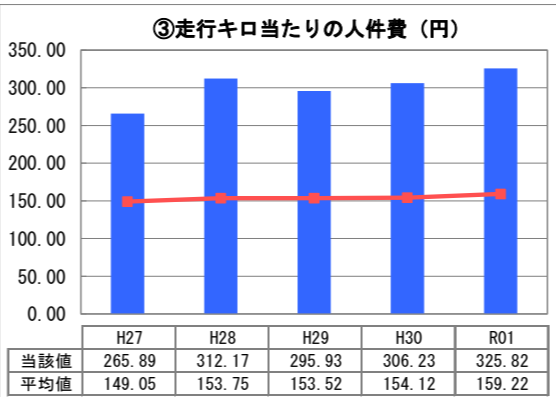
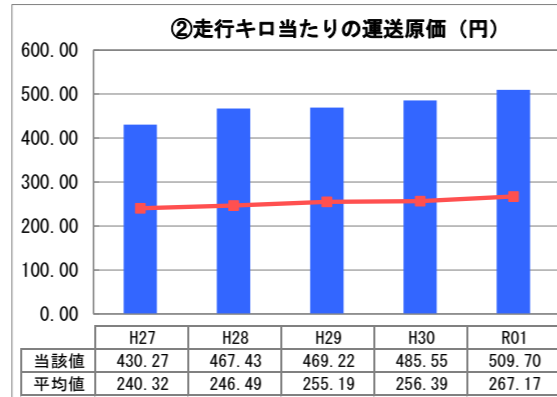
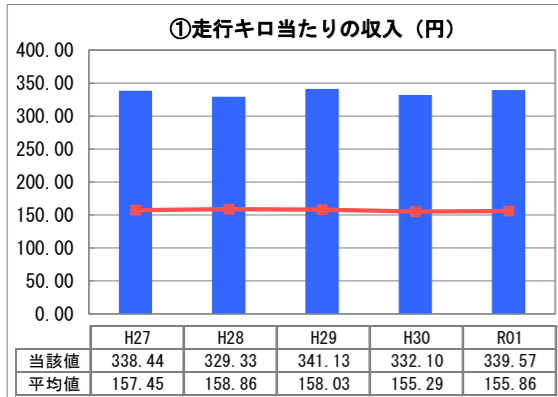
○独立採算の状況



○資産及び負債の状況



2. 経営の効率性



※民間事業者平均値は当該団体が所属する標準原価ブロックの民間平均値

分析欄

1. 経営の健全性について

※注 平成28年度より、自動車運送事業会計と駐車場事業会計を統合し交通事業会計とした関係上、平成27年度と平成28年度比で大きく増減している項目があります。

○事業の状況 (①②③④)
 ・定期運送収益は新型コロナウイルス感染症の影響により3月の輸送人員が大幅に減少したことなどから減少となり、貸切運送収益は受注量減少や新型コロナウイルス感染症の影響により減少となり、営業収益全体では前年度比4.6%の減少となりました。
 ・前年度実施した車両の購入や大規模修繕に伴う減価償却費が増加し、また退職金支出が増加したことなどから、営業費用全体では、対前年度比1.0%の増加となりました。
 ・営業収益が減少し、営業費用が増加したことから、営業収支比率、経常収支比率は一定悪化し、経常収支比率が100%を下回りました。
 ・流動比率は、公営企業平均値より高い状況を推移しています。
 ・累積欠損金比率は、0で推移しています。

○独立採算の状況 (⑤⑥⑦)
 ・利用者が減少し、費用は増加したことから、⑤⑥については前年度より増加し、いずれの項目も公営企業平均値より高い状況にあります。

○資産及び負債の状況 (⑧⑨)
 ・企業債残高対料金収入比率については、平成28年度に数値があがっていますが、これは会計統合によるものであります。令和元年度に新規借入れは行っていません。
 ・有形固定資産減価償却率については、公営企業平均値とほぼ同じ状況にあります。

2. 経営の効率性について

○走行キロ当たりの各指標 (①②③)
 ・いずれの項目についても、平均値より高い状況にあります。
 ・走行キロ当たりの人件費が増加したのは、令和2年度からの会計年度任用職員導入による引当金の増加や、退職給付費の増加などによるものです。
 ・走行キロ当たりの収入が増加しているのは、営業外収益が増加したこと、実車走行キロが減少したことに伴うものです。

○乗車効率 (④)
 ・平成28年度以降は同程度を維持していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しました。

全体総括

・令和元年度に策定した、松江市交通事業経営健全化計画（第3次計画）に基づいて、施策ごとに事業を実行していくこととしておりましたが、新型コロナウイルス感染症により、路線バス利用者の大幅な減少、貸切受注のキャンセル、主催ツアーの中止、市営駐車場利用台数の減少などにより、令和元年度は赤字決算となりました。
 ・令和2年度になると、影響はさらに大きくなり、この状況が続くと留保資金が不足する事態となります。
 ・このことから、令和2年12月に見直した第3次計画に基づき、施策ごとに事業を実行していくことで、収益の回復を図ります。
 ・また、本局において新型コロナウイルス感染症が発生しないよう、全職員が意識を持って取り組むとともに、庁舎やバスにおける除菌、換気の徹底など、バス運行の安全性を確保します。